



エステティック業界の レベルアップと 健全化のために

NPO 法人日本エステティック学会は、エステティック産業をさらに高い信頼のもとに発展させたいとの理念から、お客様が安心してエステを受けられるための情報提供やエステティシャン教育の支援(資格・認定制度、保険などの制度づくり)を行っています。

エステティック業界が本来あるべき健全な姿にあるために何が 필요한のか? NPO 法人日本エステティック学会 専務理事 榎元 建喜氏と共に、学科員で理事でもある 漕上 ゆかり氏に伺いました。

～ NPO 法人日本エステティック学会の活動～

—はじめに、NPO 法人日本エステティック学会について教えてください



榎元氏 NPO 法人 日本エステティック学会は、石川理事長のもとエステ被害等相談センターとしてエステ消費者被害問題をエステ業界の立場から真摯に取り組む団体として設立いたしました。その後、エステティック産業をさらに高い信頼のもとに発展させたいとの趣旨から学びの会として NPO 法人日本エステティック学会と名称を変更し現在に至っています。

—入会することで受けられるサポートについて、何か具体例をお聞かせください

漕上氏 サロンオーナーの皆さまにとっては、法的な事などについて相談が出来るという事は、大きなメリットだと思います。例をあげると、私はグリーンピールの日本代理店を運営しており、加盟店の健全運営をチェックする立場にあります。そこで、技術チェックや広告表示に違法性はないか等、薬機法の知識を広めるための研修を毎月開催しています。その時に使用する教育プログラムを作成する際に、NPO 法人日本エステティック学会に相談し、助言をいただきました。サロンを運営する立場にあると、分からないこと、疑問に思ったことを問合せ、回答を得られる場所があるというのはとても心強いことです。



基に、健全なサービス、健全な運営のためのアドバイスをお聞かせ頂くことも可能です。小さなことでも疑問に思うことがあるなら「ま、いいか」ではなく、お問い合わせください。業界の健全化も基本的なこと、小さなことの積み重ねです。

また、当学会の設立趣旨でもある「学び」の面では、知らないこと、興味がある事を会員様で無くても学べる機会として定期的に学会を開催しています。世の中の情報も常に変化しますから、常に学ぶことが必要です。個人サロン様などでは、どこで何を学ぶべきか分からない方も多いと思います。そんな皆さんにこそ、学会を活用して頂きたいです。技術面でも認定エステティシャン制度、認定講師制度などキャリアアッププログラムを用意し、多方面からのサポート体制を構築しています。

榎元氏 我々は、エステ被害消費者センターとして15年の活動実績があります。その活動で得た知識や経験を



—知識や技術を身に着けることが健全なサロン運営に繋がるということですね

榎元氏 トラブルを起こさないためのクリーム対応なども学んで頂けます。代表的なことといえば、サロン側はお客様が言われることが正しいという認識を持つこと。お客様の立場で考えるサロンになればトラブルを未然に防げます。



からです。万一他の原因からくるものとしても、他の診療科の受診もスムーズに受けられます。クリニックなどで原因究明をしながら治療をとると、症状が消えるまで時間がかかる

場合があります。ここで必要なのはスピード解決ですから、選択肢は総合病院ということですね。

このように、今何をするのが最善なのか、正しい選択をするためには知識が必要です。当学会では、サロン、スタッフの教育を推奨する一方、万一のトラブルに備えた光系脱毛やピーリング等にも対応できる団体保険システムを学会員の為に備えています。

エステティックメニューを取り扱う美容外科や皮膚科も増える中、サロンが生き残るためには、健全な運営、確かな技術と知識は絶対に必要な条件となります。常にスキルアップするサロンであり、エステティシャンであるためにも、当学会を活用して頂きたいと思えます。

漕上氏 サロン運営の立場から言えば、お客様が正しいことはもちろんですが、残念ながらクレマーという存在がないわけではありません。そこで、サロンとしてもお客様を選ぶ勇気をもつべきです。サロンが求めるお客様に快適なサービスを提供するためには、選ばれるサロンとして武器となる技術力、知識、商品力などが必要ですから、技術や知識の習得に学会を活用して頂きたいですね。どれだけキャリアを積んでも学ぶことは大切です。万一トラブルが発生した場合でも、知識を持って対応すると、そうでないのとでは大違いですから。

榎元氏 そうですね。例えば、我々は肌トラブルが起きたら迷わず総合病院か大学病院での受診をすすめるようアドバイスします。これは、多くの症例実績のある大きな病院であれば、この症状にはこの薬と、迅速に診断を下してもらえるか



榎元 建喜

東京都認証非営利活動法人
日本エステティック学会 常任専務理事
(株)ドクターズライフ 代表取締役
(株)エイチ・エム・シー 専務取締役
HIGHCARE JAPAN®
日本総代理店ゼネラルマネジャー

美容業界に38年。管理美容師としての立場からユニークなビジネスモデル、多方面から美にまつわるケアを提案。1985年日本で初めてバストヒップ専門店「エルフラージュ」を開業。1990年ヨーロッパで主流の「キャビンデポーデサロン」を紹介。1996年マツゲエクステンションを日本で初めて紹介普及。現在はエルフラージュを通じて「ハイケア® 陰圧美容法」(バキュームトリートメント™)の普及活動をする共に認定エステティシャン資格普及とエステ被害等の相談、防止教育に尽力している。

ハイケアセンター®の概要紹介



ハイケアセンター®はドイツアーヘン市でDr. ヴァイアーガンズ氏を中心とした医師の団体によりセルライトケアサロン陰圧美容法の普及を目的として1983年に設立されました。現在、世界37か国に1563店舗のハイケアセンターがあり、日本では銀座エルフラージュ®でハイケア®技術陰圧美容法を応用したバスト&ヒップ技術やテクニックの体験ができる。



漕上 ゆかり

(株)AMI・インターナショナル
代表取締役

厚生労働省の化粧品製造販売・輸入販売の許可書を有し、ドイツ シュラメック社と日本の総代理店契約を取得。グリーンピールの国際ディプロマの認定資格を持つドイツ シュラメック社のグリーンピールテクニカルプロデューサー。2005年より特定非営利活動法人(NPO法人) 日本エステティック学会の理事及び、認定校を開講し、認定エステティシャンの育成にも尽力中。



グリーンピール 概要紹介

GREEN PEEL®は、1958年に創設者クリスティーン・シュラメック女史(独)が発表し、ドイツで医学的知見に基づいて行なわれている、自然治癒力向上エステティック。シュラメック社のオーガニック畑で採取された皮膚にとって相性のいい100%天然ハーブを使用し、角質のターンオーバーの正常化を目的としたオーガニックハーブフェイシャルトリートメントを行う。本部モニターサロン(渋谷)では、ドイツシュラメック社グリーンピールサロンテクニックの講習や各種研修、製品の販売の他、グリーンピールのエステティックの提供も行っている。

日本エステティック学会のホームページアドレス jsejp.net
日本エステティック学会のメールアドレス info@jsejp.net